令和7年度第1回都市機能の整った快適なまち推進懇話会概要

日 時 令和7年7月3日(木)

10時00分～12時00分

場 所 逗子市役所5階第4会議室

・議題

- (1) 都市機能の整った快適なまち推進プランの事業進行管理表について
- (2) その他

・出席者

谷 守弘座長 武藤浩二副座長 田中克己メンバー 木谷和三郎メンバー
石井達郎メンバー 関 基治メンバー 齋藤由佳メンバー 四宮明彦メンバー
黒川恭祐メンバー 三澤正大メンバー 船田博士メンバー

・欠席者

大塚広美メンバーは都合により欠席

・事務局

須田環境都市部担当部長 津田環境都市部次長(都市整備課長事務取扱)
加藤都市整備課副主幹(土木管理係長事務取扱)
津金都市整備課副主幹(都市整備係長事務取扱)

・傍聴者 0名

・記録者 津金

1. 開会

事務局より、令和7年度第1回都市機能の整った快適なまち推進懇話会の開催を宣言した。
また、開催にあたり須田担当部長より挨拶をした。

2. メンバー紹介

出席メンバー及び事務局の自己紹介を行った。

3. 都市機能の整った快適なまち推進懇話会について

事務局より本懇話会の趣旨及び役割について説明を行った。

4. 議題

議題に入る前に今年度から有識者として新たに入っていたいただいた谷メンバーを座長、副座長を昨年度から引き続き沼間住民協 武藤メンバーと決定した。以下、座長により会議進行をした。

議題

(1) 都市機能の整った快適なまち推進プランの事業進行管理表について

座長より進捗状況の評価についての説明。重点事業を先に議論していく旨を説明した。

(質疑応答・意見)

基本目標(1): 都市環境の改善

狭あい道路整備事業(重点事業)

【石井メンバー】目標の達成状況の申請件数が260件とあるが、いつからの累計か。

【事務局】平成12年度からの累計である。

【谷座長】令和5年度に4mになった道路延長が0mっていうのは片側のセットバックはあったが、結果として4mになった道路がなかったということか。

【事務局】その通りである。狭あい道路整備をしても片側のみでは、4mになった道路延長は増えないため、狭あい道路の割合としても増えない。

【石井メンバー】実感として狭あい道路は多くあり、地権者との交渉等やることも多く大変だと思われるが、緊急車両が入るために安全安心のインフラ作りをするために進めて

おり、申請件数9件はよく頑張っていると思われる。

崖地対策事業（重点事業）

【関メンバー】防災助成の制度は災害があった場合に活用できるのか、それとも予防時に活用できるのか。

【事務局】要件に合えばどちらでも対象となる。

【石井メンバー】他の人に被害があった場合、法律的な責任はその所有者が受けるのか。

【事務局】原則として所有者が責任を負う。

【石井メンバー】土地所有者が責任を負うのは難しいと非常に思う。例えばどこにいるかわからないとか、防災助成で半額の負担となるが、その半額でも厳しい人が多いと思われる。ただし、危険なところがあるため、地域の人で危険箇所を報告しあって、市と協力して、地権者と交渉して何とかするという方法しかないのでは。

【武藤副座長】沼間住民協では自治会町内会の意見を取りまとめてリスト化して市に報告し確認してもらっているが、ほとんど緊急性が低いという結果になっている。住民の方は日頃から落石等が不安で見てもらいたいとしているが、自治会町内会と連携して把握していただいているということなので、逆に災害が少ないときこそ、そういう地域の不安を1件でも多く払拭して所有者といろいろ調整して進めていただきたいと思う。

【石井メンバー】地権者はそこまでの費用を払えない。ただ、近隣住民は非常に危険と思っているケースがある。その部分を全額カバーするために、県の急傾斜事業があるがかなり住民の労力が必要で難しい。

【齋藤メンバー】所有者さんと連絡がとれない場所があり、市としても維持管理の手紙は出しているが、相手が何も言ってこなければ何もできないということで、もう10年くらい対処できない場所がある。そこはゴミステーションがあり、傾斜は30度以上あるし、危険ではということで会議で話しが出ているが、結局所有者が動かなければ無理なのか。

【事務局】急傾斜地崩壊対策事業については、基本的に要望代表者は誰でもなれるので、住民協の中で代表者になることはできる。ただし、その所有者の署名をもらわなければいけないのと、急傾斜の事業を行うのに人工斜面であるときできない等の要件があるので、

まず県と市で確認をした上で対象になるか判断するところからになる。

【田中メンバー】伐採はがけ崩れ対策のためなので、がけに生えている伐採でないと対象にならないのか。

【事務局】その通りである。ただし、現在は緑政課で民有緑地維持管理費助成というものがあり、要件に合えばがけ地でなくても対象となるものはある。

【関メンバー】これから台風シーズンに入るので、こんな状態の崖地は危険という事例やチェックリスト、例えば斜面に生えている大きな木で危険な状態の見方など住民協を通して教えてもらうこともいいのではないかと思う。

長寿命化対策事業

【船田メンバー】令和7年1月28日に埼玉県八潮市での下水道管の破損に関する事故があったことについて、逗子市の対応を報告。事故の2日後に管径80センチ以上の下水道管約26キロを対象に道路上からマンホールの近辺を中心に陥没を疑われる変状がないか職員による目視点検を行ったが異常はなかった。その後、2月5日に逗子市での汚水管の最大径である1.2メートルの延長約2.6kmを、マンホールから管の腐食状況や土砂流入がないかの流下の確認調査を行ったが、管には異常なく、一部腐食が見られたマンホールはあったが、緊急で交換する必要があるものはなかった。国からの要請による調査、合流管等の管径2m以上かつ令和6年度以前に設置された管路の管内調査は現在行っており、令和7年度中に完了する予定。

【石井メンバー】埼玉県の事故の際にメディアで取り上げられたのは、現在の状況でどこまでが老朽化し、メンテナンスしなければいけないのか。正確に把握できてないところがほとんどであったと思うが、逗子市は把握できているのか。

【船田メンバー】調査が完了している部分については、把握できている。

【石井メンバー】埼玉の事例もあり、下水道料金値上げせざるを得ないのではないかと意見が多い。メンテナンスのための費用負担、それを前提とした料金の値上げであればやむをえないのではと思う。

【事務局】下水道料金の改定に向けて、各住民自治協議会に説明に行っているところである。老朽化に伴う対応というのも含めて、必要な料金の値上げというのは視野に入

れているので社会情勢上も致し方ない状況である。

下水道施設再整備事業（重点事業）

【石井メンバー】下水道料金の値上げすることは全体をみて予算が足りていないということでは。それは順調であると言えないので概ね順調ではないか。

【武藤副座長】元々ここは具体的な数値目標があるわけではないので、内容的には順調でいいと思うが懇話会の意見として、みなさんも八潮市のような懸念をしているということで、それに対して早急かつ継続的な取り組みをお願いしたい等の意見を付記したらどうかと思う。

基本目標（2）：バリアフリーのまちづくり推進

道路改良事業（重点事業）

【石井メンバー】金沢新道踏切は距離が長い。時々目にすることがあるが、お年寄りが鳴り始めて慌てて渡ると渡り切れなくなってしまうというリスクが非常にある。杖がレールにはさまったり、最近では車椅子の人も多いのでリスクフリーではない。また、個人的な意見としては安全なことと利便性を考えると立体交差にするとか鎌倉のように地下道にするなど長期的に見れば作れるのではないか。ただ費用の問題があるのでインフラ整備費用として積み立てるとか仕組みを作ることを前提に、中長期的な手立てが必要だと思われる。目標管理としては順調だと思うが、そのような発想を持っておいたほうがよいのでは。

【木谷メンバー】2週間ほど前だが、お年寄りが渡っており、中間あたりで踏切が鳴って、そこで慌てたのか持っていたキャリーカーがレールにはまったようで動けなくなり、電車の運転手が気がついて警笛を鳴らした。その後歩行者が助けにいき大丈夫であったが、そのようなケースを目の当たりにして、石井メンバーが言ったように、将来的には地下道や横断歩道にエレベーターを設置する等のことを長期的に考えた方がいいのではないか。

【事務局】久木住民自治協議会で説明した際もお年寄りが歩ききれなくて困っている事例がいくつもあると言われたが、JRからは踏切に関しては安全を感知する装置があり、

必ず止まるような仕組みになっているとのことであった。ただし、事故件数が増えていくとおそらく遮断時間が増え、開かずの踏切になるため、そのセンサーをどの位置につけるかによって安全であるとか、そういった計算で今の位置にある。そのため、危険因子が増えることによって、また何回か改良する必要が出てくるのではないかと思われる。歩道橋にエレベーター設置やアンダーパスは、ご意見として承りたいと思う。

基本目標（3）：公共施設等の更新・統廃合・長寿命化の実施

JR 東逗子駅前用地活用事業（JR 東逗子駅前複合施設整備事業）（重点事業）

【木谷メンバー】 議会で否決された理由は。

【四宮メンバー】 理由としては、整備にあたって物価高騰および資材高騰等により総事業費が当初見込みを大きく超えることが想定されることから、複合施設としての機能を確保しつつ事業費の圧縮を図るよう、基本設計の見直しが必要と判断された。

【木谷メンバー】 今の事業は要するに賛成しているが、費用がかかり反対されているとのことだが、それで事業が成り立つのか。

【四宮メンバー】 機能の確保を基本にしつつ、事業を行うには面積を小さくしなければ大きく事業費は下がらないため、その部分を検討している。

【木谷メンバー】 箱物を作るとその後の経費がどんどんかかると思うが、現在の施設では足りないのか。

【四宮メンバー】 箱物は確かに新しく作るが、老朽化した施設について個別で更新を図るより集約して更新したほうが財政的なインパクトを抑えられると思われる。また、補助金が個別の建替えでは出ないが、統廃合などの機能再編については補助対象となる。

【木谷メンバー】 沼間コミュニティセンターの躯体は大丈夫だと思うがあの建物はどうなるのか。

【四宮メンバー】 公共施設の集約をした後の跡地の方針も決めていかなければならないが、市の行財政改革方針では、公共施設の面積全体の縮減を図るという方針を持っているため、売却や貸付け等を行い、市が費用をかけて運営するようなことはしない方向で考えている。

【石井メンバー】基本構想を作成してから工事額を算出するのにそれほど期間は経っていないが、なぜ10億も増えてしまったのか。

【四宮メンバー】物価高騰で現在、年間で7パーから10パーぐらい上がっている状況があり、基本構想時点ではおおよその金額であった。設計時には災害時の対応等、基本構想時よりも機能向上をさせているところがあり、金額が上がってしまった要因であると思われる。

【武藤副座長】地元の意向としては1日も早く進めていただきたい。

基本目標（4）：歩行者と自転車を優先するまちの推進

歩行者と自転車を優先するまちの推進

【石井メンバー】自転車が危険でマナーもひどい。最近交通ルールも厳しくなったが、共存できる関係になっていない。

【谷座長】警察とも協力して取り締まりを強化したり、子供たちにも自転車のルールを伝える機会は昔よりは増えてきている。そういう意味では変わってきているとは思う。

【石井メンバー】公共交通審議会との連携について、具体的にはどんな期待をしているか。

【三澤メンバー】自転車についても公共交通の一つという捉え方もあり、多分検討していくことになる。シェアサイクルも最近非常に需要が増えているので、公共交通計画の中で位置付けるか、補完する材料として自転車行政をちょっと議題にしていきたいなと。

【齋藤メンバー】マナーの部分で住民協としても子供の見守りの観点から車よりも自転車が怖いという発想にシフトしてきている。そのため、マナーの徹底やルールの改善は必要であると思われる。

【石井メンバー】警察との連携強化は必要であると思われる。

【谷座長】逗子市交通安全協会が閉鎖して要望を伝えるのが警察だけになってしまった。今まで逗子市交通安全協会から色々支援していただいていたので、協力を求めることが以前よりも難しくなってしまった。

公共交通拡充支援事業

【石井メンバー】公共交通の審議会は年に3回程度で2年計画とのことだが、抜本的なことを考えなければならないので、それで何とかできるのか。

【三澤メンバー】有識者と事業者のみの交通戦略部会を先日行ったが、手厳しい意見が多かった。正直どこまで充実したものになるかっていうところは現時点ではわからない。

【石井メンバー】例えば名古屋ではトヨタなど負担する企業があるとのことだが、逗子にはスポンサーとなる企業がない。だからどのようにしていく予定なのか。

【三澤メンバー】事業者も採算が合わないと当然できないという話になる。また、採算が合うとかそういう次元ではなく、そもそも運転手がいなくてというところにもすごく注目が集まっているため、そこも解決していかなければならない。ただ単に金銭問題だけではないということもあるため、行政がどう絡んでいけるかというところがポイントになってくると思われる。

【石井メンバー】色々やることがあり大変だと思うが頑張ってもらいたい。

(2) その他

【事務局】本日いただいた意見をまとめて、事業進行管理表を作成してきたものは概要と併せて送る。第2回の懇話会については、11月に開催することを考えているが、本日意見を伺えなかった重点事業以外の事業について意見をいただければと思う。また、日程は通知する。